



【無料説明会】開催中

老視矯正・屈折矯正手術

フェムトセカンドレーザー 白内障手術

「フェムトセカンドレーザー白内障手術」水晶体囊の前面を真円かつ中心に切除することが可能で、レンズを水晶体囊の中心に固定できレンズの偏位や傾きを最小限にすることができます。また水晶体内の硬い組織(核)を細かく分割する事で超音波の使用を最小限に減らす事ができ、眼への負担を減らす事が可能です(ゼロフェイコ)。プレミアム眼内レンズを挿入する事で「より質の高い良好な視機能」が得られます。(保険適用外・自費診療)

プレミアム白内障手術

多焦点眼内レンズ・乱視矯正多焦点眼内レンズ

多焦点眼内レンズには、遠くにも近くにもピントが合う **2 重焦点**と中間(50cm~1m)にもピントが合う **3 重焦点**や **EDOF**があります。手術後のメガネの使用頻度を大幅に減らすことができ、手術前と比べ「快適な生活になった」と術後の患者さんから多くの声が聞かれます。

2 重焦点眼内レンズは「先進医療」として厚生労働省に承認されていますが、**3 重焦点眼内レンズ**は先進医療として承認されておきませんので、術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代金)に関わる治療代全て「自費診療」となります。また当院の長年のデータでは**3 重焦点眼内レンズ**は、より順応力がよく視機能が良好です。近年、乱視用の多焦点眼内レンズも登場しました。



Fine Vision (PhysIOL 社/ベルギー)
3 重焦点眼内レンズ

アドオン Add-On 追加挿入型 (多焦点・乱視矯正多焦点) 眼内レンズ

Add-On 眼内レンズ(IOL)は視機能向上のために開発された「2 枚重ね挿入専用」IOLです。すでに白内障手術によって挿入されている単焦点 IOL の上に、更にもう 1 枚 **多焦点(2 重焦点)IOL Add-On** を追加挿入し、ピントが「遠くにも近くにも」合うようになります(乱視矯正用もあります)。先進医療として厚生労働省に承認されておきませんので Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

オルソケラトロジー

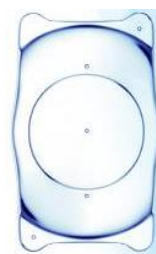
特殊な形状のコンタクトレンズ(ナイトレンズ)を就寝中に装用し、角膜形状を矯正します。近視や乱視の屈折矯正を行う視力補正方法で、朝、レンズを外し、昼間は裸眼視力を維持します。子供から大人まで幅広い層に治療が可能です。お子さまの「近視進行予防」も期待できるとされており、最近では小・中学生の装用者も増えております。

クロスリンクング (CXL)

「円錐角膜」・「角膜拡張症」の進行を抑える事を目的とし、角膜実質の強度を高め、コンタクトレンズの装用を可能にするレーザー治療です。アメリカでは2016年春 FDA に認可されましたが、日本では「保険適用外・自費診療」となります。

有水晶体眼内レンズ (ICL・アルチザン)

屈折矯正手術は大きく2つに分けることができます。1つは、眼の表面(角膜)にエキシマレーザーを照射し屈折力を変える方法です。LASIK や PRK 等があります。もう1つは眼の中にレンズを挿入して矯正する方法です。このレンズを「有水晶体眼内レンズ」と呼びます。眼内に入れるコンタクトレンズのことです。



有水晶体眼内レンズ ICL

強度近視や角膜の薄い(LASIK や PRK の適応外)の方でも視力を矯正することが可能です。またレンズを取り出すこともできます。将来「眼の治療」が必要になった場合、治療の選択肢が狭まるような事はありません。(保険適用外・自費診療)

老視矯正・屈折矯正手術〈無料説明会〉予約不要

ご家族・ご友人をお誘いのうえ、ぜひこの機会にご参加ください。

10月6日(土)・11月3日(土)・12月1日(土)

午前 10:30 開始 (午前 10:00 会場) 西眼科病院 1F 飲食コーナーにて

1. LASIK・有水晶体眼内レンズ (アルチザン・ICL)
2. オルソケラトロジー・クロスリンクング
3. プレミアム白内障手術 (多焦点眼内レンズ)
4. フェムトセカンドレーザー白内障手術

特殊外来・専門外来のご案内

屈折矯正外来(多焦点 IOL・LASIK・フェイク IOL・オルソケラトロジー)・角膜外来(角膜疾患全般・角膜移植(PKP/DSAEK)・羊膜移植・クロスリンクング)・ドライアイ外来・ブドウ膜外来・涙道外来(チュービング・DCR)・網膜硝子体外来(メディカルレチナ・サージカルレチナ)・緑内障外来・斜弱外来・セカンドオペニオン外来

基本理念のもと、当院は常日頃からスタッフ全員で症例の共有を行い、患者さんにとっての最適解を選択しております。